

職業能力開発施設拠点化

高等技術専門校施設内訓練検討委員会

(仮称) 技能振興センターの設置に関する委員会

第1回会議 議事概要

R1.5 労働雇用創生課

- 1 日時：平成31年3月20日（水）13:30～15:00
- 2 場所：ホテル熊本テルサ1F「テルサルーム」
- 3 会議出席者

※ 今回は2つの委員会の会議を合同で開催したもの。

(1) 委員

① 高等技術専門校施設内訓練検討委員会

委員28名中24名（次のとおり）出席（敬称略）

井主英尚、嶋田正人、宮本勉、川畑幸広、汐田康博、石坂敏明、坂本泰介、西川清明、工藤光明、森正光、中島範幸、古川保、植嶋均、宮本慎、吉田周生、甲斐憲彦、山下智史、熊川嘉一郎、小川倫央、宮村竜一、宮本信高、内村太、野崎康司、米田加奈美

※ 欠席の緒方委員の代理者を含めると25名出席

② (仮称) 技能振興センターの設置に関する委員会

委員12名中9名（次のとおり）出席（敬称略）

中野廣、山本さち子、矢ヶ部良一、穴井憲義、村山栄一、高島正秀、前田賢一、弓削真也、中村誠希

※ 欠席の小野委員の代理者を含めると10名出席

(2) 事務局等

- ・吉永明彦 商工観光労働部商工労働局長（検討委員会の会長）
- ・石元光弘 商工観光労働部商工労働局労働雇用創生課長 ほか課所属職員
- ・中川浩徳 県立高等技術専門校校長 ほか校所属職員

4 傍聴者・報道機関の有無

- (1) 傍聴者：なし
- (2) 報道機関：なし

5 会議内容（項目）

(1) 事務局説明

- ① 産業人材育成施策の概要等
- ② 専門校及び(仮称)技能振興センターに関する今後の方向性
- ③ 検討委員会について

(2) 意見交換等

6 会議資料は別添のとおり。

※ 「審議会等の会議の公開に関する指針」第4の規定に基づき、会議を「公開」する決定を行った。

7 議事概要（質疑応答・委員意見等）

- ※ 会議資料について事務局から説明を行った。
- ※ 事務局説明は記載省略している（質疑応答・委員意見の趣旨を記載している）。
- ※ ⇒は事務局の発言趣旨を意味する。

（委員 質問等）

- 県職業能力開発協会の村山委員が、技能検定実技試験施設に関連して技能検定の概要・意義や県協会の概要、九州各県の試験施設の状況、本県における試験施設の必要性等などについて同協会の考え等を説明された。

（委員 質問等）

県職業能力開発協会が高等技術専門校の敷地内に入るといふ旨の説明があったが、整備する（仮称）技能振興センターの管理者については県（専門校）となるのか、県職業能力開発協会となるのか？専門校と県職業能力開発協会の関係性は？

また、専門校の敷地内に建物が収まるのか？

⇒ 資料に掲載しているが、職業能力開発促進法には都道府県と職業能力開発協会との連携や、都道府県の職業能力開発協会に対する県施設使用等の便益提供努力規定があるところ。

資料に専門校と（仮称）技能振興センターに関する今後の方向性を記載しているが、専門校の建物の再整備に合わせて（仮称）技能振興センターの建物を整備するとともに専門校の既存建物内に熊本県職業能力開発協会事務所を置くことを考えている。

管理者については鋭意検討中であるが現時点では、（仮称）技能振興センターの実習場・附属倉庫（技能検定試験会場）は専門校の建物として整備し設置することを考えている。また、資料6の図で教室棟の中に描いている（仮称）技能振興センターの研修室も専門校管理として考えている。

この場合、熊本県職業能力開発協会の事務所は、同協会からの申請に基づく使用許可という形となるが、引き続き庁内で詳細を検討していく。

また、専門校の実習棟の再整備内容や全体の配置等のハード面については、H31年度のハード面の作業である施設整備基本構想の作成作業の中で、どのような配置が可能なのか検討していく予定。

以上